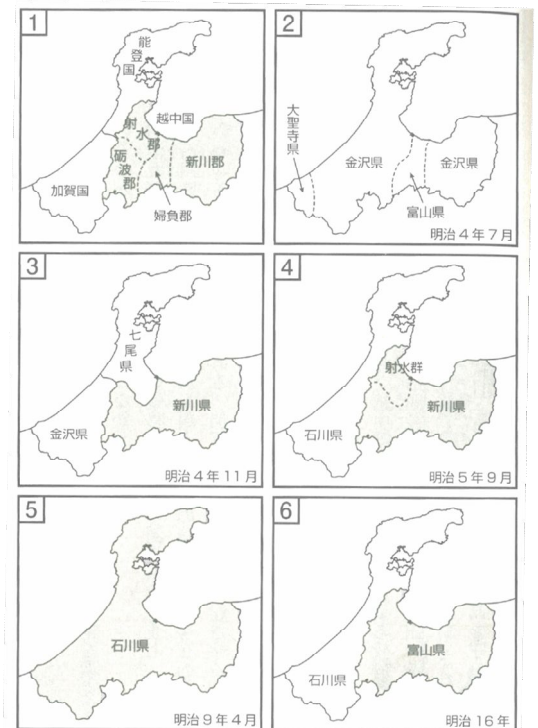


今月の一言

キーワード：二代目の富山県

富山県が誕生したのは、1871年（明治四年）明治政府により廃藩置県がおこなわれたときのことであるが、実は現在の富山県は、一度廃止されて、再びできた二代目「富山県」である。明治維新前、越中国は富山藩と加賀藩の両藩によって統治されていた。しかし、大半は加賀藩領で、越中国を構成する砺波・射水・婦負・新川の四つの郡のうち、富山藩の領地は婦負郡と新川郡の一部のみで、歴史的背景から越中の人びとの中には、加賀藩による統治に不満を抱いている人も少なくはなかったらしい。

- ①明治2年：版籍奉還で、富山藩領は富山藩、加賀藩領は加賀藩
- ②明治4年7月14日：廃藩置県で、富山藩は富山県、加賀藩は石川県
- ③明治4年11月20日：第一次府県統合
新川県：砺波・婦負・新川（県都：魚津）
七尾県：射水
- ④明治5年9月27日：七尾県廃止
新川県：射水（県庁は、魚津から富山町）
- ⑤明治9年4月18日：府県統廃合を推し進める政府が、新川県を廃止し石川県へ編入



政府による半ば強制的なやりかたは、越中の人びとの不満を煽った。地形が全く異なり、土木費の使い道をめぐり利害対立が起き、分県運動が行われた

- ⑥明治16年5月9日^{だいじょうかんぷこく}太政官布告第15号によって富山県は再び設置

道路改修に力を入れる加賀・能登衆と水害に悩まされ河川改修を主張する越中衆の対立。お互いの事を考えると対立しても仕方がないのかもしれませんが。安心して住める“富山県”にしようと運動した人に感謝！

お互いの事を知ることが大切

2015年1月23日

さいのう とおる

追伸：インフルエンザが流行しています。手洗い・うがい・体調管理を十分にしてください。